

2023年9月17日 敬老の日を迎え

私は「敬老の日」を迎え、昨年クリスマスも近い日曜日の説教中に意識を失ったことを思い起こしていました。私を見守って直ぐに救急搬送の手配、中京病院まで私と家内に付き添って下さった姉妹たちに感謝をしました。さらに翌日に医療費の支払いに行って下さった姉妹、寒い12月と言うことで2月末まで日曜日に自宅まで迎えに来て下さった兄弟、熱いお祈りを下さった教会の方々を改めて思い起こしました。

その時に記させて頂いたように、良き隣人としていつも私たち夫婦のかたわらにいて下さりありがとうございます。

すぐれない健康と共に高齢になっているのに、私自身が「病みつつ高齢を生きる自分」を受け入れているかという「あやふや」ではないかと、今の生き方を問われます。神が与えられた人生の価値と意味を信ずることの大切さを教えられつつ、自分にとらわれて不平がましく生きることが多くないかと。

孤独や体力の衰え、社会的引退や漠然とした病や死の不安は、全ての人はありませんが、私たちが怒りやすくさせ孤独を嘆くことになりま。とてもヨシュアのように生きて行くことは難しいことだと心に留めています。自己義認のキリスト者は「信仰があれば大丈夫です。神が助けてくれます。」と簡単に語りますが、そのことはキリスト者なら誰も知っています。信仰の大切さを知った上で、サウル王から逃れたダビデのように祈るのではないのでしょうか。

死の綱は私を取り巻き、滅びの川は、私を恐れさせた。私は苦しみの中に主を呼び求め、助けを求めてわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは、御耳に届いた。詩篇 18:1~6

私たちの教会もご高齢の方々が沢山おられます。長い年月をご一緒に礼拝し、聖餐式に与り、献金やご奉仕をもって教会を支えて下さり感謝します。「私たちの中でだれが一番偉いか」(ルカ9:46~48)と問い合う人はいませんから嬉しいことです。

● 今日の礼拝は藤本兄が担当されます。有名な説教者・アンドリュー・マーレーは「説教者の目的としているのは、イエス・キリストのうちにある神の恵みの満ちあふれていることを宣言し、クリスチャンが御霊の満たしにおける豊かないのちが彼らのものであることを、信じるように励ますこと」だと語りました。今日私たちは、そのような説教者に感謝いたします。来聖日(9/24)の礼拝は高木兄が担当されますから感謝とお祈りを。

● 今日の礼拝も、会堂と家庭でオンライン結ばれていることを感謝いたします。オンライン担当者(晋一兄・契悟兄・聖音兄・雄志兄)に感謝を。

● 今日の午後は、リーダーによる班別集会です。先月に続いてクリスマスお祝い会についての語り合いなども予定。

● 会計【谷口執事、高木兄、西村兄】によって、8月の会計報告が印刷されていますからお受け取り下さい。

● 来聖日(9/24)の午後は、秋の復活園合同作業です(年2回)。自由参加。6/4(日)は13名参加。各自で現地集合。教会車に同乗可。教会帰着:5:50頃。雨天の場合は翌、聖日(10/1)の午後。

● 先礼拝に、辻恵理姉(松本市)が出席されました。学生生活の良き支えをお祈り下さい。

● 先週も植物部【香住姉】メンバーによって、残暑の中を早朝、夕方に花の手入れと水やりを感謝します。

● 平塚教会【三谷浩司牧師】は11/11(土)に新会堂献堂式です。豊かな祝福を。 ●若葉教会(鶴ヶ島市)派遣・鈴木しのぶ宣教師【台湾・東アジア】から「宣教報告2023年9月」です。掲示されています。

● アンドリュー・マーレー(1828-1917)は、スコットランドから南アフリカに派遣されたオランダ改革派宣教師の子として南アフリカで生まれる。初等教育のためスコットランドに行き、1845年に修士号を取得するまでそこにいた。その後、オランダのユトレヒト大学で神学を学び、1848年にオランダ改革派教会よって南アフリカ宣教師に。ブREMフォンタインとウェリントンで牧会。著名な説教者、著作者。